

# シラチャ校だより

泰日協会学校

シラチャ校

2023. 5. 31



## 能力獲得の「適齢期」と ICT

泰日協会学校シラチャ校 校長 藤枝 茂雄

国の GIGA スクール構想が順調に進み、全国すべての子どもたちにクロームブックなどの端末が整備されたことで、ICT（情報通信技術）を活用した教育が大きな進展を見せている。シラチャ日本人学校でも国内の学校以上に子どもたちの ICT リテラシー（活用能力）が習得されている。授業の中や学級活動などでも、子どもたちは自由自在にクロームブックを使いスムーズに活動が進んでいく。

同時に、<sup>巷</sup>ではスマホアプリの発達による様々なことからの利便性の向上も著しい。私がタイに赴任してからまだ2か月も経たないが、VoiceTra などの音声翻訳アプリにどれくらいお世話になったかわからない。これらの ICT はどこまで進化するのか想像さえつかない。

一方で、アナログの世界にも面白い話題がある。たとえば将棋界での藤井聡太六冠の活躍である。究極の人間の頭脳戦の一つともいえる将棋の世界で、コンピュータの AI（人工知能）が数億手もの場面評価の結果として導き出す最適解を、人間の頭で考えて次々と繰り出していくそのすごさには驚かされるばかりである。

ところで、この原稿の執筆段階で、藤井六冠は叡王戦のタイトルを菅井竜也八段と争っているが、実は、菅井八段は私の勤務校のあった岡山市出身で、私の長男が小学生のころは、菅井八段が子どもころに将棋の腕を磨いた将棋教室（倉敷市大山名人記念館）によく連れて行ったものだった。

このときに指導者の先生（アマチュア 5 段、元中国地区アマチュア将棋大会優勝者）が言われた言葉の中で今でも印象に残っているのが、「プロ棋士は将棋の駒を頭の中で自由自在に動かせるので、将棋盤も駒もなくとも何時間でも対局できるが、その頭の中で駒を自由自在に動かす能力の習得には適齢期のようなものがあって、小学校低学年あたりがそれに相当する。自分は、高校から将棋を始めたにもかかわらずそれができるようになったけれども、普通の人は高校生の時期からではできるようにならない」というものだった。

岡山大学教職大学院の英語の教授からもそれとよく似た話を聞いたことがあって、「英語を聞き分ける耳の能力の獲得も小学校低学年ごろが身に付きやすいと思う」ということだった。また、少し前に広島の小さな店でお好み焼を食べた時、店を仕切っている高齢の女性店主が左の手のひらを算盤そろばんにみたてて、右手の指で算盤をはじく動作をしながら暗算で勘定の計算をしていたが、これも頭の中で算盤を動かす一種の抽象的な操作能力であるから、この能力の習得適齢期も小学校低学年かもしれない。いずれにせよ、人間の脳、特に発達が著しい幼少期の脳というのは恐ろしいくらいの潜在能力を持っているのだと思う。

ここで気になるのが、ICT やスマホ全盛時代の人間の脳の発達のことである。ICT 習熟者を見ていて驚くことは、検索スピード、つまり、目的とする情報に到達するスピードが恐ろしく速いことだ。こちらが「これ、どうだったかな？」とつぶやいているうちに話し相手の ICT 習熟者が必要な情報サイトにたどり着いていることなどしょっちゅうである。また、情報にたどり着いた後に、その内容を読み取る能力も高いと思う。別の言葉で言い換えれば、外部で作られたものになじんで使いこなす「文化支持的能力」は、めっぼう高いレベルで獲得されているのである。

一方で、教育現場における直感として、今後どんどん「退化」していくのではないかと危惧しているのが「文章を書く力」など「ものを生み出す能力」、言い換えれば「文化創造的能力」である。人間も生物であるから、天敵のいない島でヤンバルクイナが飛ぶ必要がなくなったように、他で代替しているうちに脳の機能はどんどん退化していくのではないか。次にあげる例も統計的に根拠のある話ではないが、ある中学校の生徒指導の先生が嘆いていたことは、「スマホ乱用傾向のある生徒は、話したり書いたりする際の文字数が随分少なくなっているので、そうした子らが話す『起こった出来事の説明』を理解するのにとても苦勞する」というものだった。

私が危惧しているような「ICT 全盛期における脳の特定機能の退化」に関する研究があるのかどうかについてはよく知らないし、現在の ICT 万能論的な雰囲気のもとではそのようなものはすぐには出てこないかもしれないが、それはさておき、ICT 全盛期だからこそ「創造性」を育てる教育は重要だと思う。国語や美術、音楽などは、まさに子どもたちが創造性を存分に発揮できる教科であり、そこで獲得される「文化創造的能力」は、発想の豊かさに大きく左右されることになるこれからの「ソフトウェアによる勝負の時代」にはますます大切なものになっていくだろう。

また、総合的な学習の時間も創造性の獲得には最適である。これは教科横断的、すなわち各教科等の学習を融合した探究的な学びという性格を持つもので、指導計画の工夫次第で単独の教科の学習以上に効果的なものになる。ただし、知識・理解のまとめがゴールとなる「総合」では不十分であり、子どもたちが自らの手で知識・理解を統合し再構成（**Reconstruction**）した結果としての成果物まで到達してこそ、その学びの目的は達成されるのである。

日本ではなかなか実現できない理想的な学級規模で授業を行える環境にシラチャ日本人学校はあるのだから、ここでしかできない「文化創造的な能力を獲得する教育」をしっかりと行っていきたいと考えている。

# たくさんのお兄さんお姉さんに囲まれて

小学部 1年学年主任 三浦弘子

入学して1か月が経ちました。徐々に学校生活に慣れ、元気な挨拶や返事、学習用具の準備、学習時のよい姿勢など、自分から進んでできるようになってきました。

今年度は、異学年との交流ができるため、朝と掃除の時間に6年生に来てもらい、朝は学習用具のしまい方や提出物の出し方を教わり、スムーズに1日が始められるようになりました。また、掃除時間には、一緒に掃除をしながら道具の使い方や掃除の手順を少しずつ覚え、上手に掃除ができるようになってきています。

5月18日(木)には、生活科の学習で、2年生と学校探検をしました。縦割り班毎(5人程度)に、2年生が1年生の行ってみたい場所についてクイズを出したり、「ここには、〇〇があるんだよ。」と教えてくれたりしながら、楽しく活動することができました。

5月23日(火)には、小学部で1年生を迎える会を行いました。2~6年生のたくさんのお兄さんお姉さんと出会い、じゃんけんで遊んだり、歌などのプレゼントをもらったりして、1年生はとても嬉しそうでした。

来月からは、初めての校外学習や運動会などの大きな行事も予定しています。様々な学習や体験を通して、さらに大きく逞しく成長できることを願っています。

掃除時間



僕がやってみせるからついてきてね。

学校探検



〇〇の本はどこにあるでしょう？

1年生を迎える会



1年生も、お礼の発表をしたよ。

# 「新たな自分発見へ はじめの一步」

7年学年主任 成岡浩

保護者の皆様、こんにちは。

お子様のご入学から早くも1か月程が過ぎました。子どもたちはそれぞれ中学生になった自覚を持って、学習および学校生活に努力しています。昨年度までのコロナ予防策も随分緩和され、活気ある学校生活になっていると感じます。本年度は、さらに学校行事が復活し、保護者の皆様にも子どもたちの頑張る姿をご覧いただける機会があります。ぜひ、お越しいただくとともに学校教育へのご支援とご協力をお願いいたします。昨日、初めての生徒総会を行いました。これまで各委員が中心となって意見を出し合い、よりよい学校にするために、議論を行ってきました。その子どもたちの姿は頼もしく、仲間を大切に思う気持ちが伝わってきました。6月中旬には、初めての乗り越えるべき壁となる定期考査があります。学校では計画的な学習指導を行って参りますが、家庭学習も大変重要となります。各ご家庭でのご支援も何卒よろしく願いいたします。

今後もさらに「明るく 仲良く たくましく」成長する子どもたちのために、家庭と学校のよりよい連携をお願い申し上げ、7年生の近況報告といたします。







今年度着任された先生方の文章を  
順番に紹介していきます。  
まずは校長先生からです。

## 生まれ出<sup>い</sup>ざる悩み

校長 藤枝 茂雄

タイトルを見ると、校長はストレスが多いのかと心配してくださる方もおられるかもしれないが、さいわい人間関係ではもともとストレスを感じる事が少ない性格なのか、38年間の公立学校等での教員生活で、今日は学校に行きたくないなどと思った日は一日もなく、いつも「今日はこれをしてやろう」とルンルンと出勤していた。そのおかげかどうか最初に覚えたタイ語の動詞も、「楽しみに待つ」という意味の「<sup>รูน</sup> (ルン)」であった。

さて、本題に戻ろう。「生まれ出<sup>い</sup>ざる悩み」の正体はといえば、学校の土地を守ってくださる<sup>ほこら</sup>祠である。毎週火曜日朝、学校全体の安泰を祈願するためにニオンディレクターと教頭先生と一緒に礼拝しているのであるが、私は当初、タイは仏教国だからこの土地も仏様が守られているのだと思っていた。ところが、おそらく同じ意味合いを持つバンコクのあの有名なサーン・プラプームのご神体がヒンドゥー教の最高神である四面の<sup>ぼんてん</sup>梵天であることを知ると、学校の祠の中の像の正体はいったい神様なのか仏様なのかという悩みが湧きでてくるようになった。ヒンドゥー教は、教祖様が存在しない宗教で、日本でいうと<sup>やおよろず</sup>八百万の神様のような神々をまつる民間信仰に由来するものだから、「仏教国タイでも<sup>ちじん</sup>地神様のような神様をまつる場面があるのだろうか？」などと考えつつ、しかし、子どもたちと学校の安全については極めて真剣にお祈りをささげている今日この頃である。

## 学校だより挿絵の募集についてのお知らせ

学校だよりタイトルの挿絵を募集します。1年生から9年生まで誰でも応募可能です。紙でもデータでも応募可能です。紙の場合はクラスと名前を裏に書いて、直接担任の先生まで、データの場合は学校だよりに添付してある Form にデータを添付して応募してください。6月19日までです。よろしくお願いいたします。

ご応募お待ちしております！





# 6月の行事予定

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日 (木)	悩み相談月間(～6/23) 放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
2日 (金)	歯科検診①(1.7.8.9年)【小:学級だより】	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
3日 (土)	ステイダー王妃誕生日 ヴィサーカパーチャ	
4日 (日)		
5日 (月)	ヴィサーカパーチャ振替	
6日 (火)	歯科検診②(2.3年) 放課後指導1年	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
7日 (水)	購買(注文票配布日) 歯科検診③(4.5.6年) 2年 ノンヌット公園	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
8日 (木)	購買(注文票提出日) 放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
9日 (金)	小交流会練習①(朝) 避難訓練・一斉下校(全校5時間授業)	13:25 P1-6 M1-3
10日 (土)		
11日 (日)		
12日 (月)	全校5時間授業	14:20 P1-6 M1-3
13日 (火)	第1回定期考査 放課後指導1年	14:20 P1 M1-3 15:25 P2-6
14日 (水)	第1回定期考査	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
15日 (木)	放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
16日 (金)	小交流会練習②(朝)【小:学級だより】	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
17日 (土)		
18日 (日)		
19日 (月)	小クラブ 放課後指導3年	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
20日 (火)	小学部交流会 中委員会 放課後指導1年	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
21日 (水)	購買(注文票配布日) 9年大使館訪問	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
22日 (木)	購買(注文票提出日) 放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
23日 (金)	1年スカパーブ公園 小委員会 アクティブタイム【中:学級だより】	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
24日 (土)		
25日 (日)		
26日 (月)	個別面談(小)三者面談(中) 全校5時間下校	14:20 P1-6 M1-3
27日 (火)	個別面談(小)三者面談(中) 全校5時間下校	14:20 P1-6 M1-3
28日 (水)	個別面談(小)三者面談(中) 全校5時間下校	14:20 P1-6 M1-3
29日 (木)	個別面談(小)三者面談(中) 全校5時間下校	14:20 P1-6 M1-3
30日 (金)	個別面談(小)三者面談(中) 全校5時間下校【学年だより】【学校だより】	14:20 P1-6 M1-3

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

## 個別・三者面談

6月26日(月)から6月30日(金)の5日間、小学部では個別面談、中学部では三者面談を各教室で行います。15分という短い時間ですが、お子様の学校での様子や家庭での様子などについて、情報交換を行い、今後の指導に生かしていきたいと思ひます。お忙しい中とは思ひますが、どうぞよろしくお願いしします。

## 小1小2校外学習

小学部2年生は、7日(水)に「ノンヌット公園」に行きます。広い敷地の中でウォークラリーをしたり、象の餌やりを体験したりする予定です。どんな発見ができるか楽しみですね。

小学部1年生は、23日(金)に「スカパーブ公園」に行きます。これが初めての校外学習になります。目の前に広がる海を見ながら行う外の学習は、教室では味わうことのできない楽しさがありますね。

## 第1回定期考査

13日・14日は、中学部で第1回定期考査が行われます。定期考査1日目の13日は、中学部の生徒は5時間で下校となります。7年生にとっては初めての定期考査です。目標点数などを具体的に定め、計画的に勉強に取り組むことが大切です。8、9年生はこれまで通り、「早めの対策」「苦手教科を重点的に」「暗記だけではなく、しっかりと理解する」などを意識して、頑張ってください。

## 小学部交流会

20日(火)は現地校であるパサーズック校の児童を迎えて、シラチャ校で交流会を行います。各学年が用意したゲームや文化交流の企画を通して、お互いの文化を理解し合います。中学部は12月に交流会を予定しています。

## 避難訓練と緊急一斉下校

9日(金)に不審者対策の避難訓練を緊急一斉下校と合わせて行います。一斉下校につきましては、SMSでの連絡となります。7日(水)にSMS送信・返信テストも予定しています。後日、詳細をお知らせしますので、よろしくお願いしします。